



第63号

発行所
大根占町役場
電話 大根占1番
編集兼発行人
遊喜半次郎
印刷所
鹿兒島市易居町2番地
南日本新聞社印刷局
電話2200番

「町民の声」
をつくる
町政への批判、意見、
希望など、卒直な町民
の声を寄せて下さい。
住所氏名を明記し、毎
月25日まで「広報報」
へ送って下さい。

町協会のこのほど総会をひら
き、新役員を選出した。
のり選出された。
会長 川越太一 副会長 川越和
男 牧原美代子 監事 馬込香
命 吉野英 書記 永田道徳 押領
司 吉合子 会計 吉元幸久

池田校区
青年団 初優勝飾る
町内一周駅伝競走
町協、町青協共催の第一回町内
駅伝競走大会は、二月三日(日)
曜日の八区間三十七キロのコースに
チームが出場し、予想どおり池田
青年団と宿利原青年団のせり合い
となったが、熱戦のすえ、紙一重の
差で池田青年団が宿利原青年団を
おさえて初優勝を挙げた。
区間賞は次のとおり
一区 中馬重夫、二〇分三秒
二区 黒木勝人、一七分二四秒
三区 黒木勝人、一七分二四秒
四区 黒木勝人、一七分二四秒
五区 黒木勝人、一七分二四秒
六区 黒木勝人、一七分二四秒
七区 黒木勝人、一七分二四秒
八区 黒木勝人、一七分二四秒

体協主催の
柔剣道大会
町協の本年度第一回柔剣道大会は
二月十六日南大根占高校大根占校舎
で、中学、高校、一般多数の各関
係者が来場盛大に実施された。成
績は次のとおり。
中学校剣道団体戦、一位 小倉、
長浜、尾辻、馬場、四元、二位
合田、野呂、崎田、落井、前原、
一、股道団体戦、一位 松田、下
世、上野、追立、二位 築地、河
野、中村、(尚)森川
個人の部
中学校 一位 小倉、二位 長浜
三位 四元
一般 一位 追立、二位 中村、
三位 下世
一般柔道団体戦
一位 益田、堀之内、坂下、二位
生見、隈元、泉
一般個人戦
一位 生見、二位 益田、三位
堀之内

思案橋まで家屋移轉

県道改の見過おし 良工事の見こおし

県道改良工事は新年度からいよいよ神奈川市街地に入る段階となり、これら問題につき本誌編集長と矢野収入役は二月八日東京、関係各府県と折衝し、二九日帰郷した。それによると当初の案では七四〇米(七〇七〇米)有効市員六米五〇〇の予定であったが、これを如何によつては、さらに工事の延

◆新しい戸籍法◆

新憲法が制定されて、個人の尊厳と男女の平等の原則という考え方の上につけて民法と戸籍法は全面的に改正され、全く新しい法律に変わりました。この新しい法律により昭和二十三年を基準として本町の戸籍も逐次改められてきたので、また千位位の戸籍を改め書き替へなければならぬことになっていいます。こんな戸籍を今年四月一日から三万年の間に全国の市町村全部改めなければならないのです。本町では初年度に馬場字全部、二年目に城元字全部、三年目に神川字全部の戸籍を改めるように計画しています。

あなたの戸籍はどう変わる

筆頭者 一郎
妻 ×長子
弟 ×次子
長男 一夫
右の戸籍は父一郎と長男一夫が残り妻長子第二郎弟次子は死亡して除籍されています。こんな戸籍は親と子だけの戸籍です。このままではよいので、戸籍改めです。これに改める理由を書いて改めるのです。こんな簡単な戸籍を改め書き替へることは「簡易改製」といふことと云います。

四月一日から全国一斉に改製
なり、戸籍は取り除く事になります。戸籍が大事なものに戸籍改め、今年からこのように作られるのだというのを、お知らせした次第です。

※お願い※

戸籍を改める事務が本年の四月一日から始まりますが、戸籍の分解作用により筆頭者(旧戸主)でない人が筆頭者になり筆頭者である人が筆頭者でなくなり皆さん方が知らぬ間に戸籍が変つた戸籍が

通信会議

三州自動車株式会社では、今後大根占一内之浦線、大根占一山ノ口海岸線の復旧について、大根占の増築を見込み、現在の営業所拡張、鉄骨車庫の建築を計画町に対して消防会館敷地を含む敷地の貸与方を入れてきたので、この問題について協議、執行部と共、議事から正副議長、総務委員長を交渉委員に選任し今後交渉を行うことになった。



半下石線など着工

町道半下石線改良工事の本年度分計画工事の入札が二月三日行われ、九七万円が共栄組(益田宗男)が落札した。これは松坂部落前山を開き、道路を大きく変更する工事、工事期間は三月末日まで、この前後の区間は失業対策事業の実施が認められたら失対事業として行われる予定であり、三月十七日、二万五千円で渡辺組が落札した。

「ハエや蚊が多くて困る」

世論調査の結果から
宿利原校区では四三・九%の高率で同地区の水のなみや臭い深刻なものであることを示しています。次に「選挙をみる公正なものにするにはどうしたらいいか」という問題については、「政策や政見をよく聞いて自分で投票する人を選ぶ」が五八・七%第一位、次に「人物のよい人を選ぶ」と答えたのが二九・二%、自分の出身地の人に投票する、というのが七・〇%でした。

三三年度第一次 自衛官募集はじまる

昭和三十三年第一次二等陸士、二等海士及び二等空士の募集が左のとおりはじまります。青年諸君は多数受験されるよう希望します。

三三年度第一次 自衛官募集はじまる

但し法律の改正により定員増加があつた場合には、海空について増加採用される。

三三年度第一次 自衛官募集はじまる

昭和三十三年四月二日から昭和三十四年六月二日の間に生れた一八才以上二五才未満の日本国籍を有する男子で中学校卒業程度の学力を有する者

